

平成28年度 ニシン漁獲物調査速報(7)

水産試験場が実施しているニシン漁獲物調査において得られた情報について、随時お知らせしています。

2月10日に小樽市漁業協同組合に出荷された漁獲物の測定調査を実施しましたので結果を報告します。小樽市漁協の皆様、ご協力ありがとうございました。

【結果】

1. 漁獲(表1) 序盤からの大型組成が続いていますが、前回調査(1月30日:速報2)の結果と比べると、②番手の割合が増えており、来遊資源、漁獲物の型が徐々に小さくなっていく例年の傾向が現れています。漁場水温は依然として非常に低い状態が続いています。

2. メスの完熟率(表1)

測定した雌個体はすべて完熟状態でした。ほぼ産卵が可能な状態にあるとみられます。

3. 年齢別尾叉長組成(図1)

尾叉長30cmにモードをもつ5年魚(2012年級)が全体の約52%、次いで尾叉長29cmモードの4年魚(2013年級)が34%と4年魚の割合が相対的に高くなってきました。同日に行った古平産の漁獲物組成(速報6)とほぼ同じような状態となっています。くわえて6年魚以上の割合が大きく減ったことでサイズ組成全体としては序盤より小ぶりになってきましたが、平均体重は332gとかなり大型であります。今季の中心と予測した5年魚がそろそろ産卵を終えて、漁獲の主対象となる年齢群が変わってくる時期になってきたと思われる。

表1 銘柄別ニシン漁獲・測定結果

銘柄	①	②	③	その他	合計
漁獲重量kg(10日出荷分)	4,220.00	5,190.00	205.00	1,438.00	11,053.0
漁獲尾数	11,366	16,851	708		28,925
測定尾数	14	17	18		49
測定尾数(精密)	14	17	18		49
平均尾叉長(mm)	308	296	290		300.7
平均体重(g)	371	308	290		332.4
雌の比率	0.57	0.53	0.28		—
完熟率*	1.00	1.00	1.00		—

*メス全体のうち産卵直前の卵を持つメスの比率

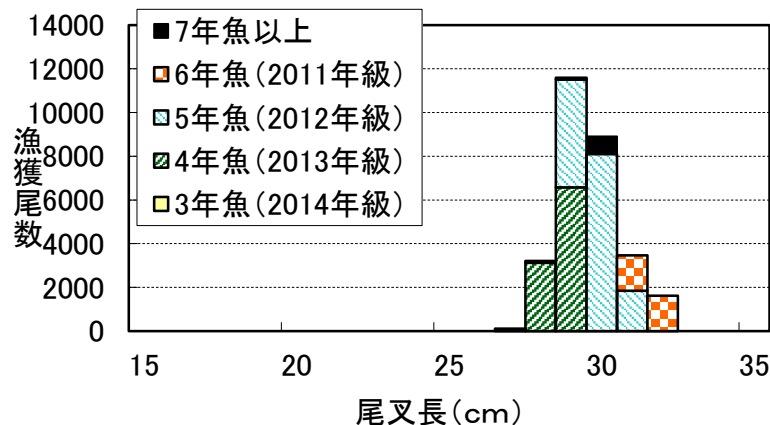


図1 2017年2月10日小樽海域 年齢別尾叉長組成